



も く じ

△新しい豊かさを求めて……………10

座談会「新知事に抱負を聞く」

出席者

- 農業者・卯野木 博 美
- 企業経営者・桑 本 保 賢
- 勤 労 者・小 堀 徳 広
- 主 婦・坂 口 志 げ 子
- 知 事・沢 田 一 精

△統一地方選挙にあたって……………24

部長登場 ―商工労働水産部長―……………28

△告知板……………26

- ・自然公園を大切に
- ・山火事の防止を
- ・新入児（園児）の交通事故防止を
- ・成人病の予防について

△もっこす・民話……………29

（この人と30分）富田浩太郎……………31

随 想…………… 8

- 荒 木 茅 生
- 金 井 光 子
- 池 田 隆 蔵

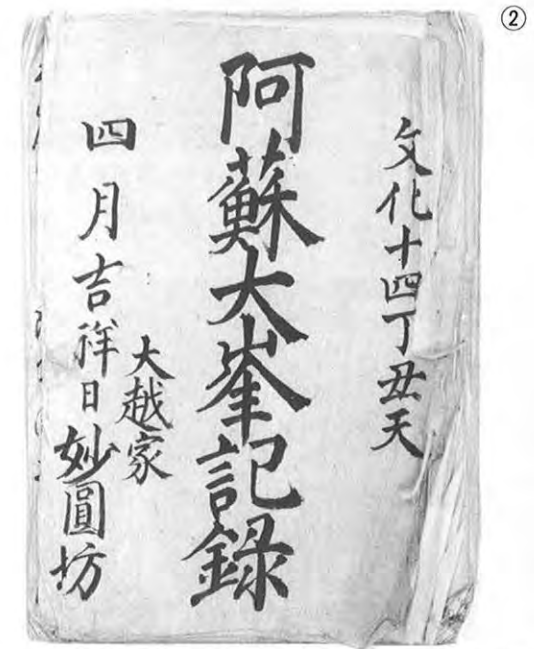
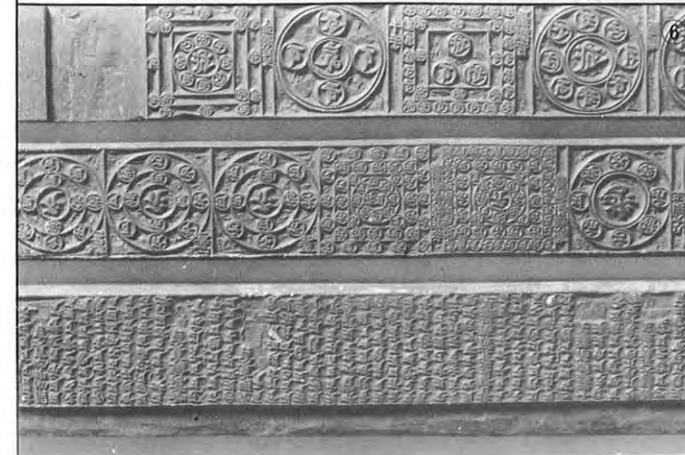
△明日の熊本…………熊本鉄道管理局長 大澤 昂…………34

△わが町・わが村 ―（阿蘇郡白水村）―…………22

△施設紹介「県養鶏試験場」……………30

- ・文学のふるさと…………… 3
- ・山岳仏教のメッカ…………… 4
- ・地酒づくりの杜氏……………19
- ・センターカラー……………20
- ・くまもとの文化財……………35
- ・郷土づくりへの参加……………36
- ・県政トピックス……………38

表紙は弁慶が穴古墳幾何学文（山鹿市）  
この古墳は、高さ約5.7m、直径約15mの円墳で、内部は複室の横穴式石室で巨大な凝灰岩がめぐらしてある。前室四周の側壁に九面の壁画がある。（県立美術館レプリカ）



- ①乙護童子像。一本造りの優秀な木像で、鎌倉時代のものと推定される。乙護童子は坊中の修験者の信仰が非常にあつく、峯入りの行に携帯したり、この像を中心に近隣の人々が集まり「講」（乙護講）をおこなっていた。（阿蘇町黒川 佐藤亮雄氏蔵）
- ②各坊がおこなった「峯入」を記録した冊子。峯入りの日時、行程及び儀礼などがわかる貴重な資料（今から162年前の記録）
- ③山頂、古坊中で採集された銅製の仏具。おいのりの儀式に使ったものであろう。
- ④古坊中から出土した素焼きの皿。油を入れてあかり取り（燈明皿）として用いたり、物を盛る皿として使用された。
- ⑤銅製の仏具
- ⑥西巖殿寺に伝わる版木（部分）。種子と呼ばれるサンスクリット語で、一文字が仏を表わす。